

障害のある子どもの支援や教育を考えてみよう！

障害による困難って何だろう？

子どもたちは、どんな苦勞をしているのだろう？

「SDGs」と障害のある子どもの教育との関係は？

このセミナーで、障害のある子どもの支援や教育について考えてみよう！



【セミナーのご案内】

□【日時】: 令和6年3月27日(水) 10:30~13:55

(昼食は各自お持ちください。なお弘前大学内の食堂、コンビニも利用できます。)

□【場所】: 弘前大学教育学部 1階中教室 (青森県弘前市文京町1番地)

□【定員】: 30名程度(定員になり次第、締め切ります。)

□【日程】 ※3つのプログラムから自由に参加できます。

10:00~ 受付(1階中教室前)

10:30~11:20 プログラム①(本日の日程説明含む)

「障害の疑似体験を通して支援の方法を考えてみよう」(担当講師:天海丈久)

【概要】見ること、読むことの困難さを擬似的に体験して子どもたちの苦勞を考え、どのような支援を行えばよいか考えてみたいと思います。

11:30~12:15 プログラム②

「障害を感覚・認知・身体との関係から考えてみよう」(担当講師:増田貴人)

【概要】歩行や書字、折り紙など、日常生活であたりまえにみられる簡単そうなことであっても、障害があると難しくなるのはどうしてなのでしょう。感覚や認知、身体の側面から、視覚障害や知的・発達障害の疑似体験をとおして考えてみたいと思います。

12:15~13:00 昼食

13:00~13:45 プログラム③

「SDGsから、障害のある子どもの教育を考える」(担当講師:中山忠政)

【概要】最近、よく耳にする「SDGs」ですが、障害のある子どもの教育とは、どのように関係するのでしょうか？ SDGsにあげられる目標から、障害のある子どもの教育の課題について考えてみましょう。

13:50~13:55 まとめ(担当講師:天海丈久)

□【申込み・問合せ等】 edu_koho@hirosaki-u.ac.jp 宛てにメールにて、

①お名前(ふりがな)、②高等学校名(学年)、③参加するプログラム番号(全てに参加する場合は「全て」とご記入ください)、④返信を受け取れる連絡先のメールアドレス をお知らせください。

件名は、「特別支援教育セミナー申込み」としてください。

【申込み締切:3月19日(火)正午まで】